

研修プログラム名【 脳神経外科基礎プログラム 】

1. 診療科（専門領域）

脳神経外科

2. 研修期間

3年

3. 募集人数

2名

4. 短期目標

頭部外傷や脳血管障害のような救急領域だけではなく脳腫瘍や先天奇形などの疾患に対して、診断、治療方針の決定そしてスタンダードな治療の実行能力習得を目標とする。具体的には6年間の研修期間を必要とする日本脳神経外科学会の定める専門医養成の前期部分に沿った研修を目標とする。

5. 短期取得手技

脳神経外科プライマリー・ケア（穿頭、脳室外誘導、開頭操作の手術など）の確実な実行能力を習得する。さらにはマイクロサージェリーの基本技術を身につけ、手術技能の到達度に応じて、難易度の高くない手術から順次行っていく。到達度によっては、マイクロサージェリーの習熟には最も適しているといわれる脳動脈瘤のクリッピング術のアプローチもしくはクリッピングまでを指導医の指導のもとに実践する。

6. 診療科の実績と目標症例数

症例数と手術件数の調査年度

主要疾患	入院数（年間）	目標症例数（3年間）
脳腫瘍	60	60
脳梗塞	130	120
くも膜下出血	110	120
脳出血	170	180
その他脳血管障害	20	30
頭部外傷	350	360
先天異常	2	6
感染	5	6
脊椎・脊髄	20	15
その他	120	120

手術	件数（年間）	目標件数（3年間）
脳腫瘍直達手術	35	30
動脈瘤手術	70	60
脳動静脈奇形手術	7	6
他の脳血管障害	25	24
頭部外傷（慢性硬膜血腫含む）	100	90
血管内手術	35	36
先天奇形手術	1	3
脊髄・脊椎手術	1	3
定位脳手術	25	24
その他	150	150

7. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 7名、非常勤 3名

診療科研修の指導にあたる医師 5名

主として研修指導にあたる医師の氏名

正岡 博幸

〃

診療科経験年数

24

年

8. コンセプト

最初の3年にて脳神経外科医としての診断、治療についての基礎を学び、スタンダードな治療、さらには先進医療を行える能力を修得することが目標であるが、脳神経外科はチーム医療であり、他科のドクターやパラメディカルスタッフとの緊密な連携をとり、同僚や、患者および家族からも全人格的に信頼される医師になることを目標とする。

また、手術に関しては、難易度の高い手術を除いてスタンダードといわれる脳神経外科手術をこなせるようになるのが目標である。

9. 共通領域研修について

- ・ 救命センターカンファレンス（毎日）参加
- ・ 神経内科と合同神経疾患カンファレンスを月1回開催
- ・ 多摩地区脳神経外科医の研究会参加、年5－6回参加

脳神経外科基礎コース

卒後3年目/卒後4年目/卒後5年目

脳神経外科基礎養成プログラム

脳神経外科専門医養成コース

卒後3年目/卒後4年目/卒後5年目

卒後6年目/卒後7年目

脳神経外科基礎養成プログラム

脳神経外科専門医養成プログラム